

500万ha植林計画の検証

ラヴィンハイパー
九州大学大学院生物環境科学府

飯田, 繁
九州大学大学院農学研究院

<https://doi.org/10.15017/4390>

出版情報：九州大学大学院農学研究院学芸雑誌. 61 (1), pp.113-122, 2006-02-01. 九州大学大学院農学
研究院
バージョン：
権利関係：

500万 ha 植林計画の検証

ラヴィンハイハー¹・飯田 繁^{*}

九州大学大学院生物資源環境科学府森林資源科学専攻森林生態圏管理学講座森林生産制御学研究室
(2005年10月28日受付, 2005年11月16日受理)

Verification of Five Million Hectares Reforestation Program

La Vinh Hai Ha¹ and Shigeru Iida^{*}

Laboratory of Forest Resource Management, Division of Forest Ecosystem Sciences and Management,
Department of Forest and Forest Products Sciences, Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental
Sciences, Kyushu University, Fukuoka 811-2415, Japan

緒 言

1. 研究の背景

ベトナム国土の総面積は32万9,241km²であるが、その約2/3は山地で、森林資源の豊富な国であった。現在の総林地面積（立木地および未立木地）は約1,900万 ha である。1945年には1,430万 ha の森林（立木地）があったが、1995年には930万 ha に減少した。1945年から1995年までの50年間に約500万 ha の森林が減少したのである。この間の森林減少には次のような要因が関係している。（ア）30年間続いた戦争によって、約200万 ha の熱帯林が破壊された。特に米軍による爆弾や枯れ葉剤の影響が大きい。（イ）燃料や家具、建材などを目的として森林が大規模に伐採された。（ウ）人口増加に伴い焼畑を中心とする耕作地の拡大を必要とした。（エ）森林地帯に生活する少数民族の人口増加率が高く、多くの耕地を必要とした。また食糧を求めて山岳地に移住してくる者も多かった。

930万 ha の森林のうち830万 ha が天然林、残りが人工林である。そのほかに未立木地面積が約1,000万 ha 存在する。このような状況を打開するため、1998年に、「500万 ha 国家植林計画」が発表された。しかし、中央政府の植林予算は特別利用林と重要な保護林

の植林費用を負担するのみであり、生産林は非国家企業、組織、世帯、個人に林地交付政策を実施し、植林を行うことになった。その成果が徐々にみられるようになり、森林面積は増加するようになった。そして、2003年の森林面積は1,209万 ha まで回復した。1995年から2003年までに約279万 ha の森林が増加した。その内訳は、天然林175万 ha、人工林104万 ha である。本研究では、その実態について分析する。

2. 森林区分

森林荒廃に対処するため、1991年に「森林保護及び開発法」を制定し、森林を生産林、保護林及び特別利用林に区分した。生産林は木材及び非木材林産物の生産を目的とし、特別利用林は歴史的文化的遺産及び美しい景観地域、動植物の遺伝子資源保全の森林を対象とし、また保護林は水土保持、土壌浸食防止、自然災害防止を目的とする森林である。

3. 天然林伐採の制限及び天然林丸太輸出禁止

政府は伐採可能量を1996年以降、毎年10万 m³ずつ減少させ、2000年以降は30万 m³とした（表-1参照）。そして天然林丸太輸出を禁止した。

¹九州大学大学院生物資源環境科学府森林資源科学専攻森林生態圏管理学講座森林生産制御研究室

^{*}九州大学大学院農学研究院森林科学部門森林生態圏管理学講座

¹Laboratory of Forest Resource Management, Division of Forest Ecosystem Sciences and Management, Department of Forest and Forest Products Sciences, Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences, Kyushu University

^{*}Corresponding author (E-mail: iidafor@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp)

表1 天然林木材の政府の計算による伐採可能量と実際の伐採許可量

単位: 1,000m³/年

区 分	～1990年	1990～95年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000～10見込
伐採可能量	2,000	800～1,200	620	523	444	368	300
伐採許可量	1,000～1,200	600～700	241	204	170	140	150

資料: 21世紀のヴェトナム農業と日本の協力, 2001年

表2 林地・森林の交付, 賃貸, 契約に関する主な諸政策

1991年	森林保護および開発法
1993年	土地法: 「交換権, 譲渡権, 賃貸借権, 抵当権, 相続権」の5つの権利を土地利用者に認めた.
1994年1月	政令 02/CP 「組織, 世帯, 個人に林地を交付する」
1994年5月	首相令 202-TTg 「森林保護・植生回復・植林契約」
1995年1月	政令 01/CP 「政府営業体における農林業生産, 水産養殖の目的に当てる土地契約」
1998年	土地法の改正 「転貸権, 出資権を加え, 7つの権利を土地使用権者に認めた」
1998年7月	首相令661号によって, 「500万 ha の森林造成に関する具体的な目標, 課題, 方針, 実行体制」が策定された.
1999年9月	首相令 187/1999/QD-TTg 「森林管理署の管理組織の変更」
1999年11月	政令 163/1999/ND-CP 「組織, 世帯, 個人に林地を交付, 賃貸する」
2001年11月	首相の決定 178/2001/QD-TTg 「森林・林地を賃貸, 契約, 交付された個人, 世帯, 組織の権利および義務」

資料: ベトナムの森林政策の文献より作成

4. 植林計画

1992年, 政府は No.327プログラムを発表した. その内容は, ①裸地・禿山に対する植林の実行及び既存する森林の保護と天然林からの伐採の制限, ②海岸地・水系の利用, ③山岳地において焼畑移動耕作をおこなう少数民族の定着と生活の安定の3点に要約できる. そして, 1998年には, この327プログラムを発展させ, 大規模な森林再生・修復計画, 通称「500万 ha 国家植林計画」を策定した. その目的は, ①環境保護 (水源保護等), ②経済開発 (林業振興), ③社会開発 (貧困対策) に資するためであり, 2010年までに500万 ha の造林を行い, 森林率を現在の28%から43%に高めることにした. 500万 ha の内, 200万 ha が特別利用林と保護林に, そして300万 ha が生産林に当てられた.

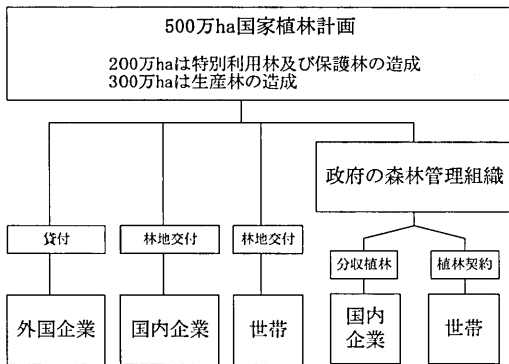
5. 林地利用権の交付

No.327プログラムを具体化するために, 1994年の政令 No.02/CP において森林地の長期使用権を国以

外の組織や世帯・個人に交付するための条件や手続きを明確にした. 1995年の政令 No.01/CP において, 政府営業体による農林業生産, 水産養殖に当てる土地契約の手続きを明らかにした. 1993年の土地法および1998年の土地法改正によって, 土地利用者に7つの権利 (交換権, 譲渡権, 賃貸権, 抵当権, 相続権, 転貸権, 出資権) を認めた. そして, 1999年11月16日, 政令02/CP を改め, 政令163/1999/ND-CP において長期かつ安定的に林業目的に利用するため, 組織, 世帯, 個人に林地の利用権を交付, 賃貸できるようにした. 2001年には, 森林保護, 植生回復, 植林, 経済開発, 住民参加による安定生活のために, 首相令178/2001/QD-TTg によって賃貸, 契約, 交付された森林・林地に対する個人, 世帯の権利および義務の詳細を規定した.

6. 林業行政組織の変更

1995年10月に開催された第9期第8回国会において,



資料：筆者の調査にもとづき作成

図1 500万 ha 国家植林計画

省庁の統合が決定された。これにより農業食品工業省、林業省、水利省が統合され農業農村開発省となった。そして、首相令187/1999/QD-TTg「森林管理署の管理組織の変更」を公布し、持続的な森林経営が不可能とされた森林管理署は森林管理委員会に管理を変更した（表-2 参照）。

ベトナム経済の回復やこれらの政策によって、1995年から森林面積は増加するようになり、2002年までの8年間で162.5万 ha の植林が行われた。年平均植林面積は約20万 ha である。そして森林率は、1995年の28%から2002年には35%に上昇した。

現在、国家植林計画における植林主体は図-1のように分類されている。すなわち、生産林では、政府は世帯、国内企業、外国企業などと土地利用契約を結び植林を奨励している。この形態はさらに直接植林契約を結ぶ形態と政府が管轄する森林管理組織を通して、請負契約を結ぶ形態に分かれる。

研究目的

1. 研究目的

上述したように、ベトナムでは1990年代中頃まで森林が減少したものの、1986年のドイモイ政策が転換点となり、1990年代に入ると、開発すべき森林と保護すべき森林が明確にされ、生産林・保護林に対する国家規模の植林が推進され、人工林が急増して行くのである。その過程を、①法令・通達の側面、②行政組織の側面、③経営主体の側面、④統計的な側面から明らかにしたい。

2. 研究対象地の限定と理由

本来、ベトナム全体について分析する必要があるが、時間的制約、多様な地域性などから、全国調査を実施することができなかった。そこで、本稿では中部高原地域の LamDong 省の LamHa 地区を分析の対象とし、上記研究目的を達成したい。

LamDong 省は、以下のような特徴を待つベトナムの代表的な森林地帯に位置しており、それがこの省を選んだ理由である。ベトナムには2002年現在、59省が配置されている。平均すると1省当たりの国土面積は約55万7千 ha であるが、LamDong 省は976,220ha と大きい。他方、約66万 ha の森林があり、森林率は65%で、全国2位である。また、天然林面積が約58万 ha（全国6位）、人工林面積は少なく約4万 ha（同18位）である。1999年から3年間の天然林の減少面積は5千 ha（同7位）であった。以上のように LamDong 省は森林地帯であり、天然林の減少が大きく、同時に植林の活発な地域であり、ベトナムの最近の森林減少と再生を分析する最適な省である。

Lam Dong 省の概況

1. 位置

Lam Dong 省はベトナムの中部高原に位置し、北緯11～13度、東経107～109度の範囲に広がっている。総面積は976,220ha である。標高は300～2,900m の高地にあるが、熱帯モンスーン気候に属しているため、平均気温は20～26度と高い。年平均降雨量は1,400～2,700mm と省内でも多様である。雨期は5月～10月で、降雨の多くが8、9、10月頃に集中している。同省には天然林が残っており、土壌条件も良好で森林の生育には適しており、天然林資源保全、植林によって森林再生を図っている。

同省の省都は観光都市として有名な Da Lat 市である。Ho Chi Minh 市から北東方向に約400km のところに位置し、ホーチミン市からの所要時間は車で約6時間である。

2. 人口

ベトナムの統一（1975年）以降、北部の耕作地を持たない農民が南部に移住したため Lam Dong 省の人口は1976年の34万人から1999年には99.6万人へ増加した。Lam Dong 省には昔から Kinh 族の外、K.ho 族（112,737人）、Ma 族（25,289人）、Churu 族（14,579人）、M.Nong 族（9,679人）などが居住していたが、統一以前（1954年～1975年）に、北部から Tay 族

表3 Lam Dong 省の土地利用の変化

単位：％

年	耕地	熱帯林	松林	竹林	未立木地
1958	3.5	39.9	28.9	18.4	9.3
1979	13.9	37.8	12.8	17.1	18.4
1992	22.6	22.9	12.5	19.0	23.0

資料：2000年ベトナムの林政，森林計画研究会会報 No.392

表4 Lam Dong 省の森林管理の各林業組織（2003年現在）

組織の種類	個所 (数)	総面積 (ha)	生産林 (ha)	保護林 (ha)	特別利用林 (ha)
1 各地区の人民委員会附属森林管理委員会	11	189,211	40,538	126,373	22,300
2 軍隊附属森林管理委員会	6	73,178	24,138	44,670	4,370
3 公安附属森林管理委員会	2	20,243	4,862	12,420	2,961
4 中央農業・農村開発省附属組織	4	38,818	4,765	4	34,049
5 LamDong 省農業農村開発所附属森林管理委員会	2	101,829	—	35,695	66,134
6 森林管理署	9	214,638	167,482	44,866	2,290
総計		637,917	241,785	264,028	132,104

資料：Lam Dong 省農業農村開発所のデータより作成

(18,927人)，Nung 族 (8,491人)，Thai 族 (4,178人)，Muong 族 (2,067人)，Hoa 族 (15,229人) などが移住しており，現在，少数民族の人口に占める割合は15%に高まっている。

3. 土地利用の変化

2002年における Lam Dong 省の総土地面積は 976,220ha であり，林地面積は661,627ha（全国の11位）である。土地利用の変化をみると表－3の通りである。1958年と1992年の耕地の割合を比較すると，前者が3.5%で後者22.6%である。また，未立木地が1958年の9.3%から1992年には23.0%に増加した。他方，熱帯林面積は39.9%から22.9%に，松林も28.9%から12.5%にそれぞれ減少した。

ところで，1993年から2002年までの10年の間に，森林再生・修復計画に基づき，住民の植林のために林地の利用権が交付されている。

4. Lam Dong 省の林業行政組織

中央政府の行政機関は1995年に機構改革が行われ，

それまでの林業省が水利省，農業食品工業省と統合されて農業農村開発省となった。農業農村開発省には，林業開発局，森林保護局，定住開発局等の森林・林業関連部局がある。

ベトナム林業行政組織は中央政府の下に省，地区，コミューンの3級があり，それぞれの級に議会として人民評議会，行政執行機関として人民委員会が置かれている。人民委員会の委員は同レベルの人民評議会で選出され，主席，副主席及び委員によって構成される。

現在，Lam Dong 省の森林管理組織は6形態に区分されている。

- ①地区人民委員会附属森林管理委員会：この森林管理委員会は各地区に属する。その内訳は，9つの森林管理委員会，1つの公園企業，1つの森林警察署である。
- ②軍隊附属森林管理委員会が6つある。
- ③公安附属森林管理委員会が2つある。
- ④中央農業農村開発省附属組織が4つある。その内訳は，CAT-TIEN 国立公園，林業用種子企業，森林研究センター，DONGNAI 製紙会社である。

- ⑤Lam Dong 省農業農村開発所附属森林管理委員会が2つある。その内訳は1つは特別利用林管理委員会、他の1つは水源保護林管理委員会である。
- ⑥Lam Dong 省には国営企業体の森林管理署が9つある。Lam Dong 省の人民委員会に附属している。森林保護を行う外、森林経営も行っている(表-4 参照)。

調査地域：Lam Dong 省の Lam Ha 地区

1. Lam Ha 地区の人口増加

ベトナム政府は都市・平野農村における人口過密と山岳部の開発を同時に解決するため、都市・平野農村に居住する Kinh 族を低開発地区(森林地帯)に移住させた。それを政策上では「新経済ゾーン」と呼び、1960年前後から開始された。1975年ベトナム統一後、北部の各地から、Kinh 族が集団で Lam Dong 省に移住した。Lam Ha 地区は1987年に設立された新しい Lam Dong 省の地区である。森林を伐採し、入植後コミューンを設立した。政策終了後も、単独で Kinh 族が移住している。その移住政策のため、Lam Ha 地区の人口は1979年の36,199人から1999年には127,100人へ増加した。

2. 土地利用の状況

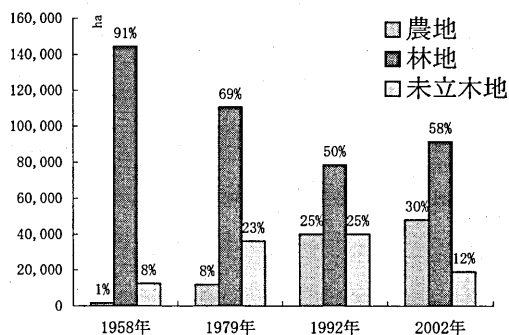
地区の総面積は158,650ha であり、そのうち、林地は97,807ha (58.6%) である。Lam Ha 地区の土地利用はこのように移住した Kinh 族によって森林が過剰に利用され、多くの林地が農地に転換された。Lam Ha 地区の土地利用の変化をみると、耕地面積の割合は1958年の1%から1992年の25%に増加した。また、未立木地は1958年の8%から1992年の25%に増加している(図-2 参照)。

3. Lam Ha 地区の林業行政組織

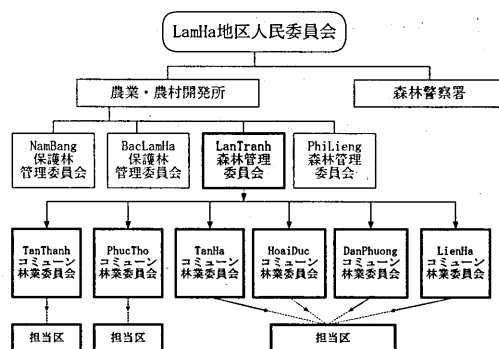
Lam Ha 地区の森林管理機関は大きく農業農村開発所と森林警察署に区分され、森林政策の執行と指導監督に関わっている。農業農村開発所の下には図-3のように Nam Bang と Bac Lam Ha 保護林管理委員会、Lan Tranh と Phi Lieng 森林管理委員会が設置されている。さらに、この下にコミューンがあり、コミューン林業管理委員会が設置されている。また、コミューン林業管理委員会の下には森林担当区が設置されている。

4. Lam Ha 地区の森林管理組織の変更

保護林管理委員会と森林管理委員会の森林管理組織は、もともと森林管理署と呼ばれ、省の附属組織であった。しかし、天然林の過剰伐採による資源の枯渇が原因で、1990年以降、ベトナム政府は天然林の伐採制限

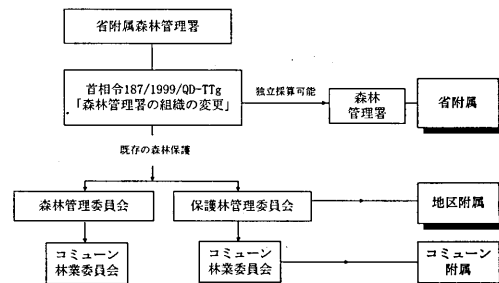


資料：Lam Dong 省農業農村開発所のデータより作成
図2 Lam Ha 地区の土地利用の変化 (2003年現在)



資料：Lan Tranh 森林管理委員会のデータより作成

図3 Lam Ha 地区の行政組織



資料：ベトナムの森林政策の文献より作成

図4 Lam Ha 地区の森林管理組織の変更

および残された森林の保護を進めると共に、1999年首相令187/1999/QĐ-TTg「森林管理署の組織の変更」の公布によって、重要な保護林が5,000ha以上ある場合、あるいは全林地面積に対して70%以上の保護林がある場合は、保護林管理委員会に管理機関が変更された(図-4参照)。また、これ以外で持続的な森林経営が不可能とされた森林管理署は森林管理委員会に変更され、森林保護および再植林が重要な問題とされた。表-5は現在の Lam Ha 地区の各管理委員会の森林区分である。

ところで、図-3のように元々Lam Ha 地区にあった4つの省附属の森林管理署はなくなり、地区附属の保護林管理委員会(4つ)と森林管理委員会(2つ)に変更された。なお、この2つの森林管理委員会のうち、1つは軍隊の管理下にある。本報告では、この委員会

の中の Lan Tranh 森林管理委員会について調査を行った。

5. Lan Tranh 森林管理委員会の行政組織

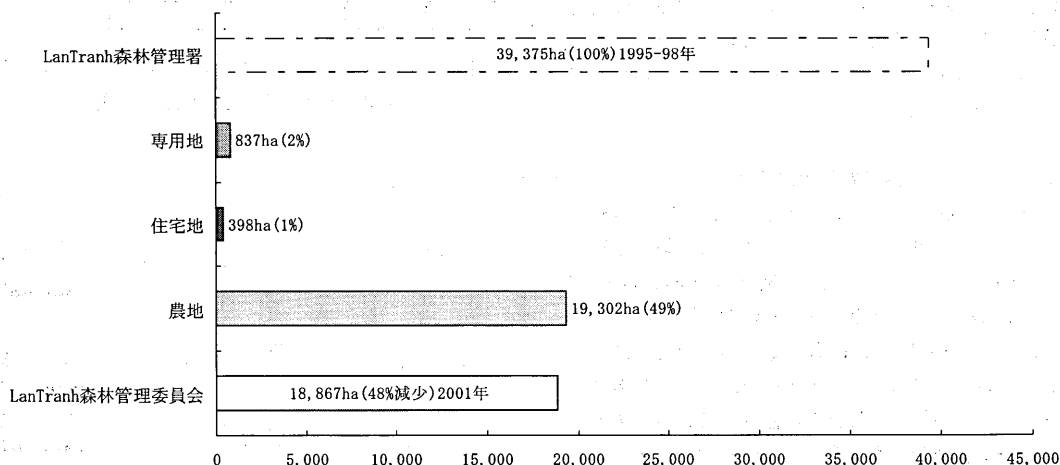
1) Lan Tranh 森林管理署の森林資源の推移

1988年に森林管理署が管轄する森林面積は39,375haあったが、上述の新しい経済地区の開発が政府の政策として実行され、定住のために林地が農地に転換された。2002年には森林管理委員会の管轄する森林面積が、18,867ha(48%)へ減少し、残りは農地面積に49%、専用地(道路、学校など)に2%、住宅地に1%利用されるようになった。また、農地の中には、移住政策以外の移住民が森林に侵入し、不法に開拓した農地も含まれている。図-5のように Lan Tranh 森林管理署は森林管理委員会へ変更された。そして、旧 Lan

表5 Lam Ha 地区の森林区分 (2002年現在)

森林管理体	総面積 (ha)	区分		
		生産林	保護林	特別利用林
1 Nam Bang 保護林管理委員会	32,750	3,775	28,975	—
2 Lan Tranh 森林管理委員会	16,628	8,988	7,640	—
3 Bac Lam Ha 保護林管理委員会	38,287	—	38,287	—
4 Phi Lieng 森林管理委員会	19,537	815	14,352	4,370
総計	107,202	13,578	89,254	4,370

資料：Lam Dong 省農業農村開発所のデータより作成



資料：Lan Tranh 森林管理委員会のデータより作成

図5 Lan Tranh の森林面積の変化 (2004年現在)

Tranh 森林管理署の管轄内に6つのコミューンが設立され、人口は46,381人、10,582世帯が住むようになった(表-6 参照)。

図-6 のように Lan Tranh 森林管理委員会が管理する林地を詳しくみると、保護林の中にも移住民の不法伐採によって未立木地となった森林が450ha あり、また、生産林地においても同様の理由で未立木地が3,497ha ある。それに加え、残された立木地も劣化が進んでいる。

2) Lan Tranh 森林管理委員会の組織機構

同森林管理委員会の組織機構は、委員長の下に総務課(5人)と技術課(2人)で構成される。技術課の下に6つのコミューン林業委員会(15人)があり、それぞれ23森林担当区を統轄している。現在、Lan Tranh 森林管委員会は18,541haの林地を管理しているが、同森林管理委員会の職員総数は23名で、人数不足のため森林の違法伐採を完全に防ぐことができない。

6. Lan Tranh 森林管理委員会の森林管理と植林事業

1) 森林保護契約

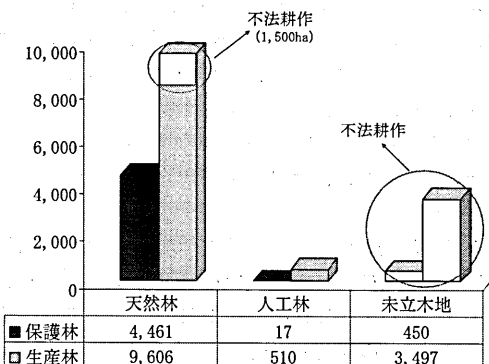
1995年の政令01/CP「農業生産・林業生産・水産養殖のための土地契約」、1994首相令202-TTg「森林保護・植生回復・植林契約」に基づいて同委員会は、地域内の少数民族、Kinh 族、その他のグループと天然林保護契約を結んでいる。具体的には少数民族106世帯および Kinh 族6世帯との契約によって2,478haの森林が保護されている。グループとの契約で720haが保護されている。また、重要な天然林で違法伐採が行われている林地を対象に、同委員会は軍隊と契約を結び、3,310haの天然林を保護している。合計6,508haの国有林が契約によって管理されており、Lan Tranh 森林管理委員会の総天然林面積の46%を占める(図-7 参照)。

契約者には山火事や森林盗伐の予防義務が課せられる。他方、枯れ枝や薪や非木質林産物等の採取権が与

表6 Lan Tranh 森林管理署の森林資源推移 (2003年現在)

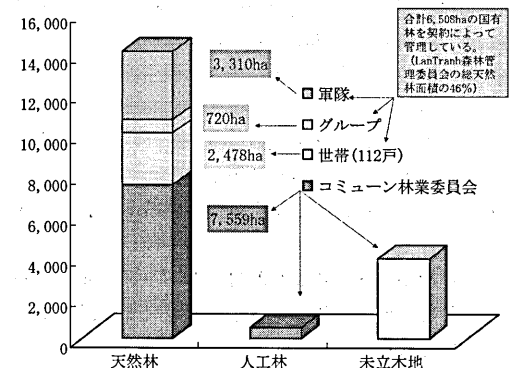
コミューン	総面積 (ha)	農地 (ha)	林地 (ha)	専用地 (ha)	住宅地 (ha)	未立木地 (ha)
Tan Ha	3,117.00	2,653.51	31.21	144.07	104.50	183.71
Lien Ha	4,853.00	3,832.97	149.10	189.83	83.71	597.39
Phuc Tho	10,400.00	3,552.47	5,428.62	158.69	44.37	1,245.86
Hoai Duc	3,110.50	2,822.13	1.50	96.43	63.64	126.79
Dan Phuong	4,794.00	2,528.13	1,517.49	108.33	44.55	595.50
Tan Thanh	13,100.00	3,912.78	8,372.95	140.05	57.40	616.82
総計	39,374.50	19,301.99	15,500.87	837.40	398.17	3,366.07

資料：Lan Tranh 森林管理委員会のデータより作成



資料：Lan Tranh 森林管理委員会のデータより作成

図6 Lan Tranh 森林管理委員会の森林面積の状況 (2004年現在)



資料：Lan Tranh 森林管理委員会のデータより作成

図7 森林保護契約

えられる外、森林保護報酬として保護林までの距離や森林の重要性によって1ha当たり年3～5万VNドンが支給される。

2) 林契約

Lan Thanh 森林管理委員会における造林事業について、資料によって確認できるのは1988年以降である。植林用種子は主に松であり、1999年までの12年間に354.48haが植林された。植林作業には主に地域住民が日雇いの形で従事した。その植林経費は全て政府の経費である。

1999年以降、500万ha国家植林計画が進められるが、中央政府の植林予算が不足しており、政府は特別利用林と保護林の植林費用を負担するのみである。

さらに、森林保護および植林への住民参加を励ますために、政府は1995年の政令01/CP「政府営業体における農林業生産、水産養殖の目的に当てる土地契約」に基づき、政府の委託営業体（森林管理署、森林管理委員会など）は請負者（個人、世帯、組織など）と植林契約を結ぶようになった。

ところで、1999年以降、同委員会は176haの未立木地を対象に世帯・個人と植林契約を結んでいる。今回は、この世帯・個人との契約について、Lan Thanh 森林管理委員会と植林契約をしたA氏から聞き取りを行った。A氏は1999年に森林委員会の管轄区内に51.9haの未立木地について契約を結び、林業農園を経営している。その契約書は次のようである。

(1) 植林契約の合意書：未立木地に植林する契約（要旨）

第1条：Lan Thanh 森林管理委員会は51.9haの未立木地を請負者（A氏）と植林契約を行う。

第2条：認められた植林計画書に従う。

第3条：12ヵ月の後、契約された土地に施業しない場合、その土地は回収される。

第4条：林地販売、不正目的に利用することを禁止する。

第5条：契約された土地の状況は未立木地である。請負者が植林費用を負担する。

- ・請負者は投資された生産物を受け取ることができる。
- ・契約期間は1999年9月30日－2049年9月30日（50年）。契約期間の終了後、契約期間の延長が認められる。
- ・契約期間の間、その契約を他の世帯の構成員に移転することができる。

A氏と森林管理委員会で交わされた合意書は、以上のような5条である。その中でも、契約期間は50年と長期間であること、契約期間の終了後には契約期間の延長が認められることなどの特徴がある。

(2) 植林計画書：A氏の林業農園における植林計画は次の通りである。

○林業農園の初年度

－ 植林作業

- ・地拵え：180万ドン/ha
- ・穴掘り、植付（1250本）：100万ドン/ha

－ 手入れ：除草、坪刈り：280万ドン/ha

－ 樹種

- ・多年生作物（ドリアン、リュウガン、シナモンなど）：325万ドン/ha
- ・林木樹種（アカシア、松）：60万ドン/ha
- ・間作物（トウモロコシ、豆類）：60万ドン/ha

－ その他

- ・有機肥料：270万ドン/ha
- ・化学肥料、農薬、燃料：290万ドン/ha

合計：1,560万ドン/ha

○2～6年生の手入れ

－ 手入れ：除草、坪刈り：280万ドン/ha

－ 間作物：トウモロコシ、豆類：60万ドン/ha

－ その他

- ・有機肥料：135万ドン/ha
- ・化学肥料、農薬：145万ドン/ha

－ 燃料：36万ドン/ha

合計：656万ドン/ha

○インフラ整備、農具

合計：3000万ドン（1円＝140ドン）

3) 問題点：不法耕作者

森林管理委員会の管轄区の中で、A氏のような契約者とは別に、移住政策終了後にも移住者が森林に居住し、食料自給のために、不法耕作を行っている。Lan Thanh 森林管理委員会の森林の状況を見ると、大部分の未立木地は移住民の不法耕作地である。今回A氏に配分された面積51.9haの契約地内にも15haの不法利用地がある。

森林管理委員会と正式契約をしたA氏は、契約林地における植林のために、不法耕作者との間で、退去に関する交渉をしており、不法耕作者に対して、不法利用の面積分の代金を支払うという条件で、移動を求めている。

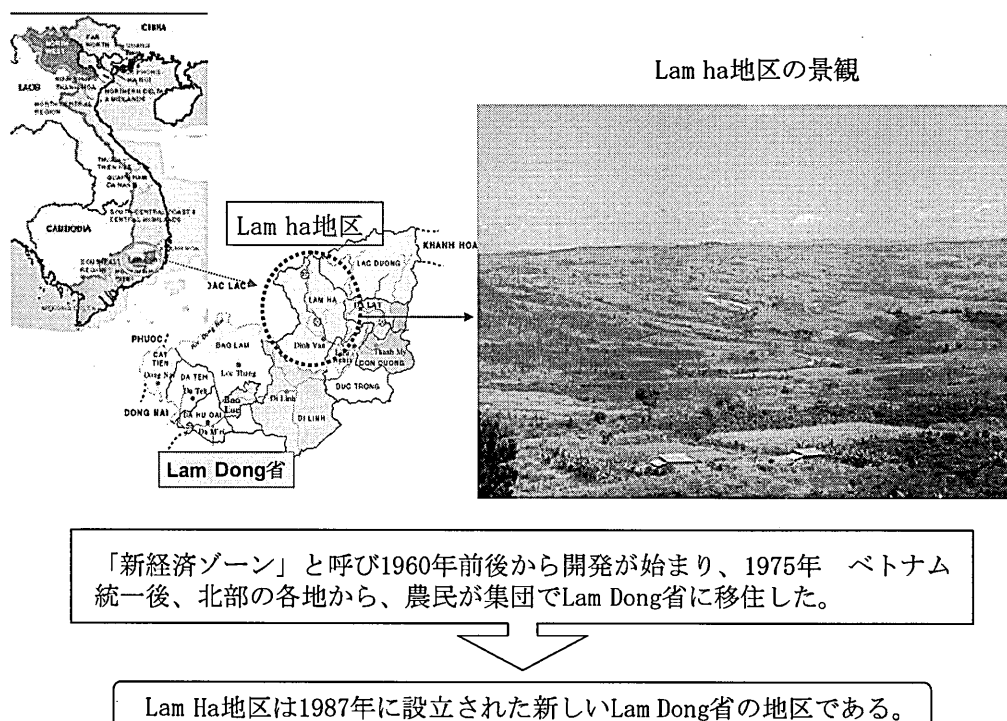


図8 調査地域 Lam Dong 省の Lam Ha 地区

ま と め

Lam Dong 省の調査結果から以下のように事実を明らかにした。

①法令・通達の側面

a) 森林の保護に関しては、政令01/CP が重要な通達であり、森林保護に関連する委託体は森林管理署、森林管理委員会である。他方、請負体は世帯と個人である。森林保護経費として、「500ha 国家植林計画」および Lam Dong 省の森林再生・保護の政策による特別利用林、最重要保護林、重要保護林の保護に関わる経費は年間 5 万ドン/ha を超えない。

b) 植林に関しては、首相令 202/TTg、首相令 178/2001/QĐ-TTg および政令 01/CP が関係している。植林契約期間は 50 年間で、植林木の間に農作物を間作することが認められる。

c) 森林管理署の役割を変更する法令は、1999 年首相令 187/1999/QĐ-TTg であり、重要な保護林が 5,000 ha 以上ある場合、或いは全林地面積に対して 70% 以上の保護林がある場合は、保護林管理委員会に管理主体が変更された。そして、残っている森林管理署は独立

採算で森林経営を行っている。

②林業行政組織

a) 中央政府の林業行政組織は農業農村開発省の中に林業開発局、森林保護局、定住開発局などで構成されている。

b) 中央政府の下に省、地区、コミューンの 3 級の業績組織があり、それぞれに林業行政組織がある。

c) 省の行政組織は、森林管理委員会と森林管理署に区分される。森林管理委員会は地区人民委員会を責任者とするもの、軍隊、公安、中央農業農村開発省、Lam Dong 省農業農村開発所が責任機関となるものなど多様である。なお、森林管理署は国営企業体であり、省の人民委員会の管轄となる。

d) 地区の林業行政組織も省と類似の森林管理委員会が編成されている。地区の森林管理委員会が世帯や個人、グループ、軍隊、企業などと契約によって植林および森林保護を実行している。

e) コミューンには林業委員会が森林管理委員会の下に組織され、森林担当区を統轄している。

③統計的な側面

a) Lam Dong 省及び Lam Ha 地区の森林管理委

員会別森林管理面積は、生産林38% (24万 ha)、保護林41% (26万 ha)、特別利用林21% (13万 ha) である。そして、Lam Ha 地区人民委員会附属森林管理委員会 (4カ所) は生産林6%、保護林34%、特別利用林3%を管理している。

b) Lan Tranh 森林管理委員会は、旧 Lan Tranh 森林管理署 (1988年の森林管理面積: 約4万 ha) の森林を引き継ぎ2002年現在1.8万 ha を管理している。

④課題

移住政策の終了後も、世帯単位の移住が続き、森林内に侵入している。現在、未立木地で植林対象となっている場所には、多くの不法移住者が居住し、食料の生産を続けている。それは不法耕作であり、Lan Tranh 森林管理委員会の場合、未立木地の面積3,947 ha (21%) がそれにあたる。したがって生産林内にある未立木地の植林活動に関して、請負者 (植林契約者 A 氏) は、不法耕作者と土地管理をめぐって対立している。しかし、請負者に対する政府からの支援はなく、請負者は自分で不法耕作者と話し合い、移動費を支払わねばならないことが問題である。

住民参加による植林を促進するためには、不法耕作

者を無条件で退去させるか、不法耕作者の権利を認め、請負者の契約区域に含めないなど、利用権を明確にし、保障する必要がある。

文 献

- MOT SO QUI DINH QAN LY NHA NUOC VE DAT DAI, NONG NGHIEP, LAM NGHIEP, THUY SAN. NHA XUAT BAN CHINH TRI QUOC GIA HANOI* 2002, p481~497. 土地、農業、林業、水産の管理の法令、政治国家出版社、2002、481~497頁 (ベトナム語)
- GIAO DAT LAM NGHIEP. NHA XUAT BAN NONG NGHIEP*, 1996, p24~31. 林地交付、農業出版社、1996、24~31頁 (ベトナム語)
- Nguyen Van Dang *LAM NGHIEP VIET NAM 1945~2000. NHA XUAT BAN NONG NGHIEP*, 2001, p222~223. ベトナム林業 1945~2000農業出版社、2001、222~223頁 (ベトナム語)
- 森林計画研究会会報、No.392、第47回森林計画研究発表大会、2000、67頁
- プロジェクト形成調査、21世紀のヴィエトナム農業と日本の協力、国際協力事業団ヴィエトナム事務所在ヴィエトナム JICA 長期専門家、2001、112頁

Summary

The area of Vietnam is over 33 million. In 1945, the area of forest was 14.3 million ha, which was about 43% of the whole land. The forest area decreased 9.3 million ha (28%) in 1995 due to civil war, over-harvesting, growth of population and swidden agriculture. In July 1998, the Prime Minister issued Decision No.661/QD/TTg (Five Million Hectares Reforestation Program). The purpose of this program to protect the environment, forestry promotion, create employment opportunities, support sedentary cultivation and increase incomes for mountain rural people. The program created a positive opportunities for the people who participated in recovering bare land and forest management.

On the other hand, the government implemented the "new economic zone" policy due to the shortage of food and the need for developing mountain regions after the Vietnam War finished in 1975. This immigration policy specially focused on the Southeast and Central highland regions of Viet Nam. People who immigrated to this "new economic area" cut down a large forest area for cultivating land by the policy. After the end of the immigration period, a large number of free-immigrants (illegal inhabitant) has continued to settle in the zone and destroyed many forests for cultivation and improvement of their living conditions. They are strongly opposed the reforestation program. Thus the conflict become extremely important issue to solve in the forest sector in Vietnam.